パソコン作業自動化を社内で進めるプロジェクトの、経過報告の原稿を作っています。

マイクロソフトのパワーオートメートを使った、段替え作業時のパソコン作業の自動化をしています。

具体的には、マウスとキーボードの操作を自動にして、生産管理システムに自動でデータを入力します。

現在の状況は、基本的なパワーオートメートの操作方法を覚えました。また、パソコン作業自動化業界の情報収集を行っています。

ここで、生産管理システムを自動で動かしている動画を見せる。

現在の問題点は、残りの原料の入力が難しいです。

原料名を文字認識機能で読み取って、その横のボタンを押す必要があります。

パワーオートメート標準搭載の文字認識機能を自宅環境でテストしてみましたが、良い結果ではありませんでした。

最も良い解決法はマイクロソフトのAIビルダーという、AIサービスを使う方法が良いそうです。

AIサービスを利用すると、その都度、従量制課金でお金がかかってしまうと思われますが、AIを利用することで、難しいプログラミング作成が簡単にできます。社内で公式にAIサービスを利用することは、色々なリスクを考える必要があると思いますが、現在、評判の高い自動化ソフトは、AIサービスを利用することが前提になっているので、AIサービスの利用をさせていただきたいです。パワーオートメートも、AIビルダーと組み合わせないと、潜在能力を引き出せないです。

もしAIサービスの利用をしない場合、プログラム言語のパイソンを使用した、PyAutoGUIライブラリ等の利用を検討したいです。無料で利用できます。パイソンには文字認識や画像認識やパソコン操作自動化ツールやテストツールが豊富にあります。全部無料です。

まずは、マイクロソフトのパワーオートメートを徹底的に活用する作戦で行きます。パワーオートメートにはコパイロットAIも日本語対応で搭載されました。AIが搭載されたことで、プログラムの作成やメンテナンスが簡単になります。他のオペレーターに自動化ソフトを教える事も簡単になります。

以上です。